

きぎずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

関東ブロック代表者会議報告

—初のオンラインZoomによる開催
11月27日 (午後2時〜3時30分)

会議は日本ユネスコ協会連盟から鈴木理事長、尼子事業副部長、木間、鈴木両日本ユネスコ国内委員、吉崎、宮下両関東ブロック代表理事他、1都5県(栃木、千葉、茨城、群馬、埼玉)から各県連絡協議会会長等が参加しました。埼玉県からは田村会長が埼玉県連絡協議会の会長として参加し、熊倉事務局長、山内同会理事、平賀当協会副会長が陪席しました。

通常代表者会議は日本ユネスコ協会連盟の会議



Zoom会議の画面

Zoom会議の画面
活動研究会②
全国大会③
コロナ禍における各地ユネスコ協会の活動状況④
デジタル化推進

進の進捗⑤6月に木間国内委員から活動状況に関するアンケートの結果報告が行われました。①の概要は以下の通りです。①に関して、2020年度に群馬県がコロナの感染防止のため中止となり、2021年度は栃木県で行われることになりました。栃木県の代表者より開催日(10月2日・土)、開催場所(足利市民プラザ)、大会テーマ(多文化共生とSDGs)、分科会(4分科会)等に関する検討状況の報告がありました。②に関して、2020年度に山口県が21年度は近畿ブロック、2022年度は関東ブロック(千葉県)で行うことの報告がありました。吉崎会長から千葉県(木更津市)で開催することに関して、県及び市の協力が得られる見通しがあったとの報告がありました。③に関して、1都5県から活動状況に関して順番に報告がありました。埼玉県に関して田村会長から県連の活動として総会(書面による審議)

おおよび理事会(9月開催)開催状況に引き続き県内の事例として当協会のコロナ禍における状況(地域文化遺産スタディの再三の開催延期や来年1月、3月のオンラインを導入しての講演会及び蓮田市内のユネスコスクールに対する講師派遣)につき報告しました。最後に、鈴木理事長から全国各地域で9月以降多くの媒体を使って活動が始まっていることに勇気づけられたこと、またWithコロナにおいてはブロックを超えた情報を共有することの重要性が指摘され、1時間半に及ぶオンライン会議が終了しました。



会長宅でテレビとPCを接続してZoom会議

オンライン・デジタル化を推進

—Withコロナの時代

会長 田村勝彦



会員皆様、良き年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年はコロナ感染予防の為事業の中止や延期などご心配お掛け致しました事お詫び申し上げます。

この未曽有の危機に對して当協会も感染予防や情報伝達的手段・対応策として色々と考えた末にオンライン・デジタル化の準備を始めました。当協会が生き残る選択肢の一つとして「オンライン推進チーム」を設置しデジタル化を推進しようという覚悟致しました。

「新型コロナウイルス感染防止を踏まえたユネスコ協会活動の対

策」と云う命題を掲げた当協会に対して日本ユネスコ協会連盟からも「助成」を戴き、更に前に進む決意が出来ました。現在QRコードリーダーやZoomによるリモート講演に必要な機器購入を進めております。

この目的に應える為に会員皆様のスキルアップも図る事も大事です。そのため私達高齢者等が取扱いに窮するデジタル化に向けたアドバイザーが必要と考え「相談室」を事務局に置く準備をしております。

次年度は具体的に講演や会員連絡・会議など様々な場面にオンライン活用を図ってまいりますので各位のご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

ユネスコ通信・豪州便り

顧問 福地光男

昨年10月の関東ブロック大会には、田村会長の豪州友人ハービー・マーチヤント博士は体調を崩され急遽欠席となりました。ハービー博士は討論と、バグパイプの演奏で懇親会も大いに盛り上げて戴きました。お二人からその後の様子が11月下旬に届きました。マーチ

ヤントさんは豪州の首都キャンベラに、ハービー博士は南東のタスマニア島のキングストンに住み両地点間はほぼ南北に直線距離で約870kmです。(東京から札幌北の砂川市までの距離)。豪州は日本の約20倍の国柄、気が候が日本とは半年異なるので、今、豪州は春から夏へ向かう季節を向かえています。

マーチヤント博士からの便り

首都キャンベラから 山火事・コロナ禍・・・

昨年の大会に顔を出せず本当に申し訳ありません。健康を害し海外旅行が出来なくなりましたが、今は復調しているのがご安心下さい。その後のキャンベラの様子は決して良いものではありませんでした。昨年10月から東海岸のあちこちで物凄しい山火事(ブッシュ・ファイアー)が発生し、12月1月までに18万6千平方キロメートルが焼失し、6,000以上の建造物や家屋が破壊され、



マーチヤント邸の日本庭園

た。豪州では山火事は決して珍しいものではないが、火災からは免れませんでした。この状況でキャンベラへの交通網は一時遮断。消火活動は外国からの協力も得て、地上からと航空機により根気よく実施され、今年5月にとやっと鎮火しました。軍による被災者の救出活動も行われ、山火事は前例のない大規模なものでし

ここ数年の早魃や高温続きが山火事の拡大に拍車をかけたようで地球温暖化の影響でまた山火事が起こることを心配しています。山火事に続き年初からコロナウイルス感染が広がりました。豪州連邦、各州、各準州(テリトリー)はいち早く対策に乗り出し、迅速に国際旅行や州や準州の間の旅行を禁止しました。豪州では感染者数は約2万8千人、約1,000人の死亡者数のレベルであり、豪州の経済活動は深刻ですが、諸外国に比べて感染のレベルを抑え込んでいると言えます。また、キャンベラ周辺では行動自粛が行き渡り、感染は低いレベルです。また、ウイルス検査は容易に受けられ、結果は24時間以内で判明します。人々は感染防止規制に従い、友人への訪問やレストランでの会食は稀です。8月からは東豪州の広範囲にわたり降雨が続

ハービー博士からの便り

キングストンで釣り三昧・菜園に夢中 生涯最後の講演となった関ブロ大会

私はこれまで研究発表のみならず、政治家や大使や王室の前など多岐にわたる機会に、話をしてきました。昨年10月にマーチヤントと連名での発表は最も思い出深く、感慨深いものでした。この数年の早魃や高温続きが山火事の拡大に拍車をかけたようで地球温暖化の影響でまた山火事が起こることを心配しています。山火事に続き年初からコロナウイルス感染が広がりました。豪州連邦、各州、各準州(テリトリー)はいち早く対策に乗り出し、迅速に国際旅行や州や準州の間の旅行を禁止しました。豪州では感染者数は約2万8千人、約1,000人の死亡者数のレベルであり、豪州の経済活動は深刻ですが、諸外国に比べて感染のレベルを抑え込んでいると言えます。また、キャンベラ周辺では行動自粛が行き渡り、感染は低いレベルです。また、ウイルス検査は容易に受けられ、結果は24時間以内で判明します。人々は感染防止規制に従い、友人への訪問やレストランでの会食は稀です。8月からは東豪州の広範囲にわたり降雨が続



鉢植えのワサビ

き、やっと早魃が収まりました。キャンベラでは春から花が咲き誇り、初夏にかけて屋外での活動が盛んとなりました。山火事の煙を気にすることなく庭いじりを楽しんでいきます。昨年の夏は直径8cmの大きさの電が降り、庭どころか、屋根や車に大きな被害があり、キャンベラでは4万4千台以上の車に被害がありました。幸い我が家は電から免れました。今は適当に雨が降り、日本庭園風の我が家の庭に日本からの山葵が元気に育っています。ブルーベリーはクリスマス間に合うでしょう。庭の橋や野菜の写真を付します。



最近の釣果 2.3kgのブラウン鱒

アミの生存可能の可否がオキアミを捕食する生物へ大きな脅威になるのに世界の政府や経済界のリーダー達は気候変化の事実を受け入れられません。

の水準の高さや素晴らしい伝統文化に感銘を受けました。日本の人々は自然を理解し繋がりを大事に、科学の大事さを深く理解しています。この心はユネスコの大事な役割である地球という惑星の平和を大事にする心と強く結びつくものです。帰国後は様々な事がありましたが、コロナウイルスの脅威にさらされ感染防止とロックダウンによる世界的な経済衰退は、多くの人々の関心事でした。いつか感染の脅威が去り、経済は復興するでしょうが再び環境変化が人類や地球へ大きな影響を与える事を改めて悟る事でしょう。この地球が病むと健全な経済など望むべくもなくウイルスの脅威に戦っている間も温暖化が進んでいきます。海洋は暖かくなり酸性化が進み天気のパターンが変わり、南極と北極が暖かくなり氷が消失しつつあります。南極オキ



自家製日本の野菜

第51回評議員会書面開催の報告

2020年11月28日開催

コロナによる感染者が急増しているなか書面による開催が決まり以下の事項が議題とされました。議題は5項目です。1、部会等からの報告(組織部会・財務部会・地域代表・青年代表理事会)2、役員(理事・監事)及び評議員会の選任に関する選考委員会の設置 3、青少年ユネスコ活動助成緊急第二次募集・採択状況 4、2020年度主要事業報告(10の事業・略) 5、第147回日本ユネスコ国内委員会総会報告。以上でした。

次回第52回評議員会日程は2021年1月30日(土)とされ書面開催(コロナ禍の収束がたない為)と発表されました。当協会と関連ある事項として組織部会から「組織内デジタル化の推進」と構

成団体会員の役員改選があります。昨当協会は評議員会というポストも用意され来年は改選の時期で従来は非公式であった推薦結果が公表されることとなりました。2021年度全国大会は開催の可否も含め12月に方向性を出す事、首里城の復興ユネスコ募金は3896万円(10/23現在)となつたとの報告がありました。従来その都度の大規模災害が発生した場合の募金活動は「災害子ども教育支援事業(仮称)の事業構想」についての案がだされました。東日本大震災事業の実績とノウハウを踏まえて9年間60億円以上の寄付金を回収・学校支援144校・2教育委員会(支援地域63市町村)更に2つの奨学金支援、累計4899名と



ニカラグアの子供たち

ユネスコスクール支援事業

12月22日(火)蓮田中学校体育館で講演会開催 ニカラグア赴任の協力隊OBが感染症・貧困問題を紐解く 講師/JICA国際協力推進員 矢田部 健佑氏

「幸せって何?」写真で見ると限り子供達の顔に暗さは感じられない、服装も日本と変わらない。家族愛、絆は日本より強いとか、悩みの次元が違うのでしょうか。ニカラグア共和国・日本から飛行機で18時間人口646万人面積は北海道十九州一人当たりGNI2030米ドル日本の20分の1、そして感染症の宝庫ジカ熱、デング熱、チクング



ディアブロ・デ・ロホ(赤おに)



なまはげ

6%である。講演中から蓮田の生徒たちは活発に質問、今回はコロナ感染予防対策として3年生(140名)は体育館で受講、2年生(135名)、1年生(143名)は各教室でオンライン受講となりました。不思議な日本と共通する文化、赤飯や鬼文化もあります。

世界遺産 Tri-D-3



チェコ クルムロフ城の塔

チェコ共和国の南部、オーストリアのリンツからも近いモルダウ川の蛇行する部分に童話の世界から抜け出したような小さな街がある。丁度、巾着の袋の部分に広場や教会をして赤い屋根の家々が美しい景観を創り出している。13世紀ごろから街が発展してきたと言われるチェスキークルムロフの街である。街はドイツ系の領主により支配され、チェコ人、ロマ人、ドイツ人などが住み着いてきた。しかし、第二次世界大戦後はチェコ(スロバキア)からのドイツ人追放により、現在はドイツ系の人はいない。昔は民族に関わらず人々が混在し生活し繁栄してきた街なのに、目には見えないが傷跡として残っている。中心部からモルダウ川を隔てた対岸の岩盤の上にはクルムロフ城がある。街の規模からは不釣り合いなほど大きな城である。チェコでは2番目の規模を誇る。城は何回かの増改築を経ているために、ゴシック、ルネッサンス、バロック様式が混在している。外壁には人物や石組み模様など美しい色彩が残されている。ヨーロッパの城や教会では石組みがそのままの美しさを見せるものが多いが(ポルトガルのトマール修道院等)、ここでは漆喰の上に騙し絵のように上手に石組みの絵を描きまるで組石造に見える。(2016年訪問) 1992年世界遺産登録

文・素描/原田仁会員

今後の行事予定

当協会初のネットによるライブ配信(Live)も計画

一月から三月にかけて次の行事を予定してます。

■国際文化スタディ

○日時・1月24日(日)

14時00分〜16時00分

○会場・白岡市「はびすしらおか」

○テーマ・「ブラジル日系会の歴史と発展」

「援助」から「協力」へ、そして「連携」へと発展して来た。その歴史を振り返り「多文化共生社会」へのヒントを探ります。

○講師・本郷豊氏(国際協力機構元国際協力客員専門員)

■地域文化遺産スタディ

○日時・3月13日(土)

14時00分〜16時00分

○会場・白岡市「はびすしらおか」

○テーマ・「鉢形城と戦国武将」長尾景春・上杉顕定・北条氏邦の3人を通して関東三国志を概観します。何故、鉢形城を築城したか、岩槻城や周辺の城の動向なども語って戴きます。

○講師・石塚三夫氏(鉢形城歴史館館長)

形城歴史館長)、会場では新型コロナウイルス感染症防止を徹底するため、事前申込みによる人数限定、受付作業もできる限り人と人の接触を回避する方法を取ります。初の試みとして「地域文化遺産スタディ」についてはネットでのライブ配信(Zoom)を計画しております。ご自宅にパソコンがありネット配信をご希望の方には積極的に活用頂き会場の雰囲気が変わるよう配信方法を取ります。今後のコロナ拡大において政府関係省庁の指導により会場での活動の制限があるときには協力致します。詳細はホームページ等でのご案内を参照願います。その他

蓮田市立黒浜小学校

○日時2月19日(金)

蓮田市立黒浜小学校

○日時3月11日(木)

蓮田市立黒浜北小学校/テーマ調整中

講師福地顧問

調整中

講師福地顧問

調整中

講師福地顧問

会員紹介

- ①執筆者
- ②今までの歩み
- ③ユネスコ活動への抱負(敬称は省略しています)



蓮田市西新宿在住 野村 滋

この度、近隣在住外国人を対象とした白岡日本語教室の同僚である会員の熊倉さんから、来年1月の講演会を紹介されました。小生は、ブラジル人が多い群馬県大泉町の出身で、近隣の外国人を対象とした白岡日本語教室の同僚である会員の熊倉さんから、来年1月の講演会を紹介されました。小生は、ブラジル人が多い群馬県大泉町の出身で、近隣の外国人を対象とした白岡日本語教室の同僚である会員の熊倉さんから、来年1月の講演会を紹介されました。

世界遺産旅行記を募集

あなたのオリジナル世界遺産旅行記を会報「きずな」に発表してみませんか。文字数4〜8百文字写真も添えてメールで tamuzo@d6.dion.ne.jp まで、会報に関するご意見もお待ちしています。

身で、これを機に入会を申し込みました。30年前後海外と関連した仕事から離れ、まもなく10年経ちますが、通勤には白岡駅を利用していました。数年前から世界盆栽大会等のボランティア活動に参加し、現在は延期になったオリン・パラリンピックへ向け準備中です。入会案内に記載された諸活動、特に町の文化遺産や歴史を学び、仲間とのおしゃべりを通じ、地元外国人住民との相互理解促進を期待しています。よろしくお願ひします。

不惑の年明け、昨年からのコロナウイルスによるパンデミックで私たちの生活は一変しました。百年前のペストから人類との飽くなき戦い。感染したら家族に迷惑、周りに迷惑、社会に迷惑、これこそが日本人の「恥の文化」どんな強制力よりも効果があることを望みます。(理事一同)